

事業計画

1. 配合飼料価格差補てんに関する事業

配合飼料価格の変動によって生ずる畜産経営者の損失を補てんすることにより、畜産経営の安定を図るための事業を、(一社)全日本配合飼料価格畜産安定基金との間で締結する配合飼料価格差補てん契約及び加入者との基本契約に基づき行う。

(1) 令和8年度の畜種別契約数量

畜種別	加入者	契約数量	対前年比(%)	
	(件数)	(トン)	加入者	契約数量
乳用牛	70	6,954	89.7	92.9
肉用牛	23	4,678	100.0	101.2
豚	21	21,712	95.5	96.1
採卵鶏	27	28,997	100.0	109.6
ブロイラー	1	70	100.0	107.7
計	142	62,411	94.04	102.0

(2) 通常補てん積立金の徴収と納付計画

加入者が負担する通常積立金を四半期ごとに徴収し、これを基金に納付する。

令和8年度の積立金単価はトン当たり800円である。

2. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(機械導入事業)

地域ぐるみで収益性を向上させる畜産クラスター計画に位置づけられた地域の中心的な経営体に対して、生産コストの低減、高付加価値化、新規需要の創出、飼料自給率の向上のために必要な機械装置のリース方式による導入等を支援する。

3. 肉用牛振興対策事業

(1) 肉用子牛生産者補給金交付事業

牛肉輸入自由化後肉用子牛生産に及ぼす影響に対して肉用子牛の再生産を確保するため、関係機関の協力のもとに実施する。

(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度(法制マルキン制度)事業を、関係機関の協力のもとに実施する。

4. 受託事務事業

神奈川県養鶏経済農業協同組合連合会の事務の一部(郵便物の転送等)を受託する。

5. 関東甲越ブロック配合飼料価格安定基金協会理事長会議

関東甲越ブロック配合飼料価格安定基金協会理事長会議について、令和8年度は神奈川県が幹事県となっているため、準備・運営に取り組んでいく。

6. かながわ畜産の日の取り組みについて

かながわの畜産が、県民の理解のもと発展してきたことに感謝し、これからも県民の期待にこたえる気持ちを込めて(一社)神奈川県畜産会が制定した「かながわ畜産の日」に係る記念イベント等に参加するとともに、協賛の依頼があった場合は予算の範囲内で対応する。

7. (一社)神奈川県畜産会設立 70 周年記念行事について

(一社)神奈川県畜産会が設立 70 周年を迎えるに際して行われるイベント等に参加するとともに、協賛の依頼があった場合は予算の範囲内で対応する。